

# シーニックバイウェイ北海道の現状と十勝平野・山麓ルートを経緯

## 【凡例】

指定ルート

候補ルート

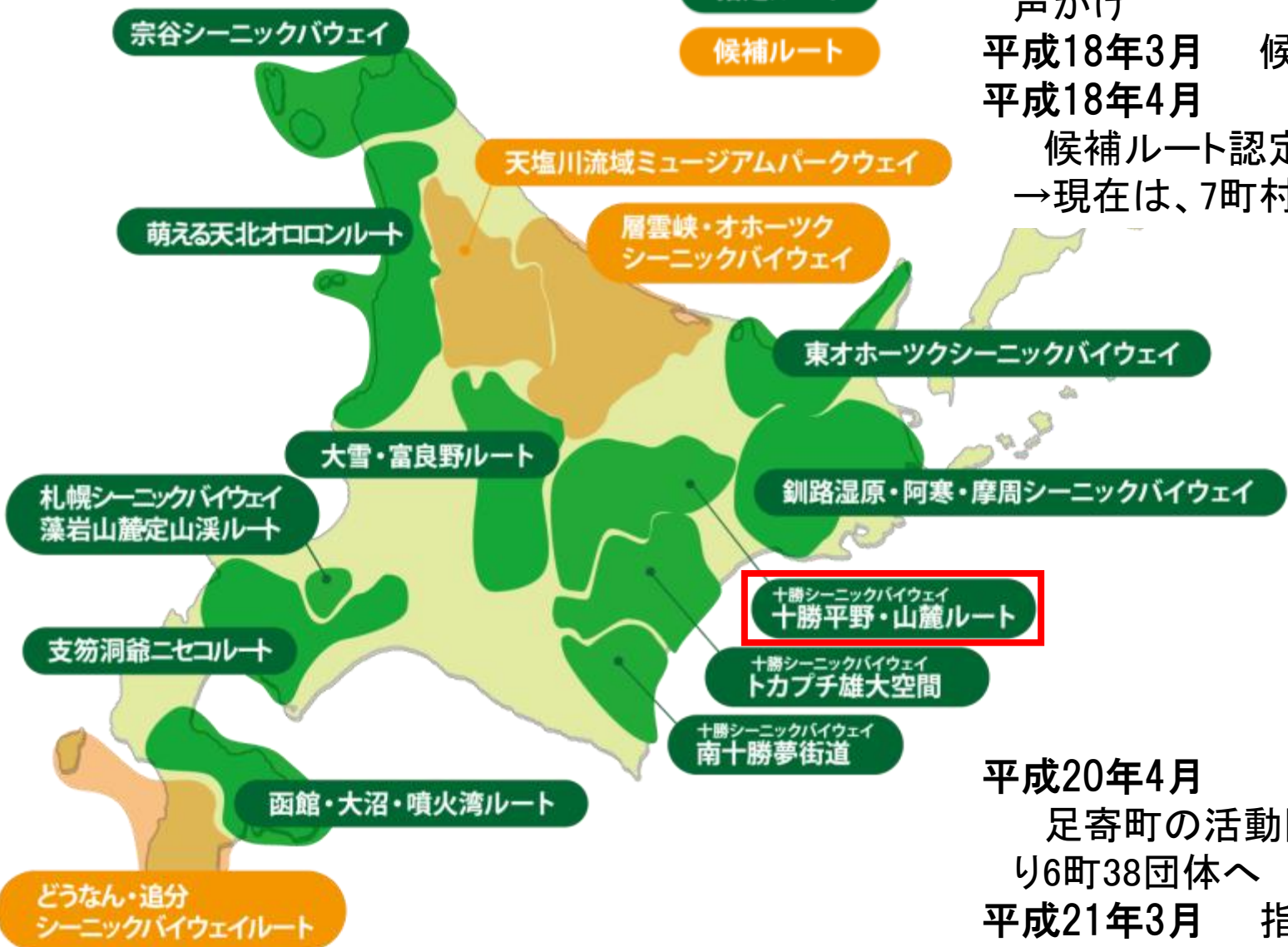
平成17年春

SBW検討。関係諸団体への  
声かけ

平成18年3月 候補ルート申請

平成18年4月

候補ルート認定(5町24団体)  
→現在は、7町村、45団体



平成20年4月

足寄町の活動団体の参加によ  
り6町38団体へ

平成21年3月 指定ルート申請

# 十勝平野・山麓ルートの概要

テーマ: スケールは日本一 広さ・環境・ツーリズム・農

広大な十勝平野の西北部、日高と東大雪の山裾を巡るルート上に、希少な動植物が息づく原生林、訪れる人の心を癒す森と湖、エコツアーやグリーンツーリズムなどのあらゆる体験施設と、地域産業である「農」の素材を活かしたファームレストランなどが数多く点在し、食と農とアウトドアを満喫することができます。



多彩なアウトドア体験メニュー



シーニックカフェ (ヌブカの里)

当ルートは、十勝の西北部に位置する新得・清水・鹿追・士幌・上士幌・足寄・陸別の7町を巡るもので、国道38号線、241号線、273号線、274号線および、周辺の道道、町道をエリアとする、日高山脈と東大雪の山裾を巡るルートである。

国道38号線は狩勝峠を経て北へ延び、273号線は三国峠を越えて旭川方面へと連なり、大雪・富良野ルートへと接続する。

274号線は日勝峠を越えて日高へ、札幌圏へとつながる。札幌圏へは、北海道横断自動車道の全通により管内の観光客の増加が見込まれる。

241号線は、南は十勝シーニックバイウェイで連家いする「トカプチ雄大空間」と接続し、北へは、足寄を抜けて阿寒湖へと連なり、「釧路・阿寒・摩周シーニックバイウェイ」と地続きになった。

さらに、242号線は、オホーツクエリアの中核都市である北見市へとつながる。

- ◆構成自治体  
新得町・清水町・鹿追町・士幌町・上士幌町・足寄町・陸別町
- ◆隣接ルート  
・大雪・富良野ルート  
・釧路・阿寒・摩周シーニックバイウェイ  
・トカプチ雄大空間

# 十勝平野・山麓ルートの主な活動

## ●ルートマップの作成



## ●十勝と上川で共通のサインツリーを植樹「100年の木プロジェクト」



狩勝峠での植樹の様子

## ●大雪山周辺地域の広域連携「大雪ぐるっと広域連携」



ホテルオークラでの食フェア  
「鹿追町産切干し大根のサラダターメリック風味」

## ●シーニックカフェスタンプラリーの開催

